

サービック第二事業所営業3グループ

いい加減にしろ! 錆だらけの詰所! 健康被害が危惧される!!

現在、関西新幹線サービック新大阪第二事業所営業3グループの詰所は、健康被害が危惧される状態になっています。

昨年8月、第二事業所に営業3グループが新設されました。営業3グループを新設した目的は、前田稔さん（J R 東海労新幹線関西地本副委員長、前大阪運輸所分会長）を、大阪第二運輸所から放逐（強制出向）させるための場所（職場）を確保するためです。

業務は「新大阪駅の旅客設備等の拭き業務」「駅構内における旅客案内業務」とまったく必要性がないもので、取って付けたような内容となっています。詰所は第二事業所本体から隔離するように離れた所で、倉庫を手直ししたものです。

また、問題となっているエアコンなどの備品も古い物が使用されています。

錆の入った水道水を入れたポットは真っ赤! 古いエアコンから錆だらけの水漏れ!

健康被害が危惧される状態については、営業3グループの詰所のポット（内側）が、水道水に錆が入っているため真っ赤になります。昨年11月に開催したサービック本社との団体交渉において、本社は「（水道水が錆臭いことについて）水質検査をして問題ない」と回答していました。しかし、問題ないとされている水道水を入れたポット（内側）は真っ赤になります。以前から水道水が錆臭いため、給湯器と飲料水（サーバー）の設置を要求しましたが、本社は「現状で対処されたい」と不誠実な回答をしています。

さらに、営業3グループの詰所のエアコンは、30年位前の物で錆だらけの水漏れが発生します。エアコンを取り替えるように要求しましたが、昨年11月に開催した団体交渉において、本社は「そのような考えはない」と不誠実な回答をしました。私たちJ R 東海労新幹線関西地本のあきらめず粘り強い取り組みによって、1月31日に開催した団体交渉において、「エアコンの取り替えを検討している」との回答を得ました。しかし、「検討」と「実施」は違います。早急にエアコンの取り替えを実施することを求めます。

また、営業3グループの詰所の周りの通路や壁に鳩の糞や羽が散乱しています。地本による清掃と消毒の要求に対して、本社は「現状で対処されたい」と不誠実な回答をしています。

以上のように、営業3グループの詰所の環境は健康被害が危惧される状態になっています。

サービックは、「安全配慮義務」「労働安全衛生法」の観点から、直ちに営業3グループの詰所における劣悪な環境を改善すべきです。